

Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>



去る1月31日、全米から選出された日系人リーダーを囲み、「2015年外務省主催在米日系人リーダー訪日プログラム」の社行会ディナーをJBA主催で開催した(詳細はp.8)

2-3

第180回JBA特別経済セミナー報告

**「2015年の米国ならびに世界経済を読み解く
～米国経済正常化でどうなる金利・為替の行方～」**

6-7

第179回JBAビジネスセミナー報告

**「サプライチェーン改革
～流通コストの削減と関税、移転価格プランニング～」**

4-5 インタビュー「私のLAライフ」

8 「2015年外務省主催在米日系人リーダー訪日プログラム」参加者を囲んでの夕食会開催

9 異業種交流会(ミキサー)報告

10-12 各部会からのお知らせ

第180回JBA特別経済セミナー

「2015年の米国ならびに世界経済を読み解く ～米国経済正常化でどうなる金利・為替の行方～」



経済・金融の専門家が米国経済という身近な話題を解説するとあって、業種を問わず多数が参加

去る2月13日、トーランスのミヤコハイブリッドホテルで、第180回JBA特別経済セミナーを開催した。みずほグループから講師として招いた2人の専門家が、世界的にも一人勝ちの様相を呈する米国経済の現状とその背景を解説。2015年度の金利や為替の動向なども踏まえ、米国と世界の経済・金融について詳細に説明した。

第1部



【講師】

太田智之さん

1995年京都大学大学院修了後、富士総合研究所に入社。以降エコノミストとして、経済調査部、日本経済研究センター、財務省財務総合政策研究所等を経て、2012年より現職。主に米国マクロ経済、経済政策の分析を担当。

米国と世界経済 現状と展望

第1部では、米国および世界経済の現状について解説。まず金融危機からの米国経済の回復度合いをEU、日本との対比で確認。世界経済が好調だった2007年の各国GDPを100とした場合、現在のEUのGDPがちょうど100、アベノミクスに沸いた日本がいまだ100を下回るのに対し、米国は110と最も回復していると指摘。米国は金融危機の発端であったにもかかわらず、今やギリシャ問題に揺れるEUなどを尻目に「一人勝ち」の状況。また、IMFの世界経済見通しによると、原油価格の下落を受けて、産油国を中心に多くの国の成長率が下方修正となる中、米国の成長率予測は0.5%引き上げられた。この理由を太田さんは、世界最大の原油輸入国である米国は、原油価格の下落によって海外

への支払いが減り、その分、国内の家計や企業に回るお金が増えるからだと説明した。

そもそも住宅バブル崩壊後、米国の家計は積み上がった債務の削減に着手。株価や住宅価格の反転上昇もあって、家計のバランスシートは飛躍的に改善した。そこに原油価格の下落の追い風。太田さんは、ガソリンや暖房など一般家庭で消費される燃料費の節約額を1650億ドルと試算。これが全て別の消費に向かえば、経済成長率を1%押し上げるほどの力になるという。

加えて、太田さんは、成長率だけでなく「回復の広がり」にも注目だと指摘する。実際、州別の雇用者数をみると、金融危機前の雇用水準を回復したのは、ノースダコタ、テキサスなど50州中24州で、多くがシェールブームなどに沸く州。これに対して、ネバダ、アリゾナなどメキシコ国境と近く、相対的に低所得者層の多い地域は、雇用回復のペースが鈍く、まだら模様の様相を呈している。米国経済が本当の意味で足腰の強い経済になったと言うためには、こうした出遅れ感のある地域も力強さを取り戻す必要がある。

次に、シェールオイルの話に移った。一般的にシェールオイルの採算コストは1バレル60～80ドルとされ、原油価格が50ドルを割ると採算割れを起こすと言われる。しかし

実際は採算コストを40ドル以下で生産できるシェールオイルが全体の5割を占め、60ドルでは8割が採算的に問題がない。もちろん採算の厳しい業者もあるが、その影響はすぐさま倒産ではなく、まずは設備投資の抑制という形で経済に現れるという。事実08～09年の天然ガス価格急落時も、シェールガスの設備投資は2/3に減った。太田さんは当時の経験則を基に今回の設備投資抑制額を450億ドルと予想。金額は大きいですが、同時にガソリン価格下落などによる家計の節約額が1650億ドルに達するため、米国経済全体で見た油価下落の影響はプラスに働くと語った。

巷ではサウジアラビアなど産油国の価格攻勢で、原油価格がまだ下がる懸念が燃えている。しかし太田さんは、アラブの産油国といえども際限なしに原油価格を下げられないと指摘。「サウジアラビアは原油の輸出で得たお金で生活必需品の輸入しています。つまり輸入をまかなえるだけの外貨が必要です。そのためには原油価格が1バレル63ドルを上回る必要があると言われており、彼らとしても現在の価格水準の継続は望ましくないはず」と語った。さらに原油価格の下落を新興国経済の減速と結びつける見方に対しても、「ブラジルなど新興国の経済が減速したとしても原油の需要は増えま

MIYAKO HYBRID HOTEL
TORRANCE, CALIFORNIA

21381 S. Western Ave.
Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111
Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

Two Choices. One Hotel.

Distinctively World-Class. Proudly Green.

Japanese Elegance in the Heart of Downtown Los Angeles

MIYAKO HOTEL
LOS ANGELES

328 E. First Street
Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000
Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

す」と疑問を呈した。国内の新車販売台数が200万台から100万台に減れば、経済成長率という点ではマイナスだが、国内で走る車の総数は100万台増えるので燃料需要の減少はありえないと指摘。「鉄道などのインフラが整備が遅れている新興国では、輸送の大半をトラックに依存するのでなおさらです」と付け加えた。原油価格急落は、新興国等の需要が問題ではなく、シェールブームによる供給過多が原因だとして、シェールオイルの減産が確認されれば、原油価格は安定するだろうとの見立てを示した。

第2部



【講師】

中原英明さん

1988年九州大学卒業後、第一勧業銀行に入行。以降、国際資金為替部デリバティブプロダクツグループ調査役、ALM部参事役、市場金融部次長などを歴任。2010年にみずほ銀行米州資金部次長として着任、現在に至る。

米国における 足許の金融市場動向

リーマンショック時を除けば、過去10年間で上昇している原油価格は、昨年8月に急落。この影響で産油国の通貨、特にロシアのルーブルは激しく下落。市場参加者にとって「原油価格の下落＝産油国の魅力の下落」となるため、ルーブルを叩き売った形だ。そもそも原油価格の下落が為替相場に影響を与えるのは、産油量ではなく原油の輸出額が大きい国の通貨であるはず。しかし中原さんはブラジルを例に、輸出額が小さくても価格下落の影響が及ぶ例を解説した。

「原油価格の下落の影響は、産油国から次第に資源国へと波及しました。ブラジルは産出量こそ世界13位ですが、輸出額ではランキングにすら出てきません。そもそも

同国は鉄鉱石や大豆を多く輸出する国ですから、原油価格はあまり影響しないはずですが、為替相場は連想ゲームのように資源国の通貨にも影響を及ぼし、ブラジルの通貨レアルも急落しました。この現象は株式市場にも同様に起こっていました。」

次に米国金利の話題に移った。基本的に10年物金利と物価の動きは連動しており、FRBが昨年12月時点で発表した経済見直しによると物価は緩やかに上昇と予想。政策金利も15年末に1.125%、16年末2.5%、17年末3.625%と上昇を予想している。ただし市場参加者らの試算はそれぞれ0.46%、1.215%、1.7%となっており、FRBのそれよりも低い。

同様に金利と株価も相関関係にあるが、14年の推移を見ると株価上昇に反して10年物の金利は下落。米国経済が堅調なら本来上がるべき金利が下がっている理由として、中原さんは次の3つの要因を紹介した。

1つ目は、ウクライナを含めたロシア情勢やエボラ出血熱など、ネガティブな世界的事件や出来事が金利を抑える傾向にあること。2つ目は、日本やEU諸国の国債金利がゼロ近辺かマイナスであるのに対し、米国債は現在2%前後あるため、利息収入を期待する投資家が買っていること。3つ目は、有事の際に金融機関から流出する可能性のある資金額を算定し、それを100%以上カバーできる安全な資産の所有を義務付けたLCR (Liquidity Coverage Ratio) という規制により、常時換金できる優良な資産としての米国債が売れていることなどを挙げた。これらの要因が「株が買われるなら金利が上がる」という常識的な現象を打ち消しているようだ。

さて、6年ぶりの大相場となった14年のドル/円相場。過去5年の平均値幅は14.1円で、過去10年で見ると15.6円、20年では18.2円。現在は1ドル120円で

あり、130円台は容易に想定内となる。

1973年以降これまでの円安局面は全て日本人の円売りが円安を主導してきた。今回もそれは変わらないが、その日本人の中にドルを買い遅れるわけにはいかない輸入企業が多く存在する点がこれまでと大きく異なる。今回の円安は124.14円が一応の目処とされているが、これを超えると一気に130円代に突入することもあり得るとというのが普通の見方。しかし中原さんは、それほど円安に振れないと見る。その理由をこう解説した。

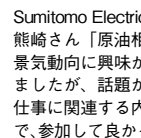
「原油価格の下落で、日本では経常収支が改善されドル買い円売りのフローが減少すると考えられます。一方では原油価格の下落が周辺諸国に恩恵を及ぼさなければ米国の利上げが遅れる可能性もあり、また今も米国債は『買い』ニーズが強いことから、日米の金利差はそれほど拡大しないと考えられるからです。結果的にドル高円安は予想以上に進まないと思います。」

また、堅調に上昇している日経平均株価は実はドル建て換算すると下がっていたとし、円安で輸出企業の業績が伸びているから日本株が買われたのではなく、円安で単に日本株が割安になっただけと考える市場参加者の存在を指摘。中原さんは1ドル115円付近が均衡点と見ている。

参加者の声 >>>



Pacific Guardian Lifeの今井さん「自分の興味から参加しました。専門家お二人の詳細な説明のおかげで、アメリカ経済のマクロとミクロが分かった気がします」



Sumitomo Electric USAの熊崎さん「原油相場と今後の景気動向に興味があり参加しましたが、話題がどれも私の仕事に関連する内容でしたので、参加して良かったです」



北川 & イベート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.

北川 リサ 美智子 弁護士

京都大学法学修士・連邦最高裁判所認可弁護士
知識、道徳性においてトップ5%全米ランキング

WWW.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC

#1 Choice of Japanese Companies in the U.S.

WALL STREET JOURNAL, Chicago Tribune, Los Angeles Times 各誌にて勝訴紹介

EXPERIENCE
経験

SUCCESS
必勝

REASONABLE
良心的

- 訴訟・調停・仲裁・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設
- 税務争訟・遺産・相続

(949) 788-9980 INFO@JAPANUSLAW.COM

300 SPECTRUM CENTER DRIVE SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998

インタ 私のLA

ロサンゼルスで活
企業の皆さんの、企
姿と、オフの素顔を



Bank of the West
Little Tokyo Office, VP & Branch Manager

さとう ありお
佐藤 有男 さん

地域のインフラとして 全体での成長を目指す銀行に

1964年東京都生まれ。慶應義塾大学卒業後、リース会社入社。同社米国子会社駐在員として95年に渡米。99年、同米子会社を米国企業に売却、移籍。2002年、United California Bank (現Bank of the West)へ転職。06年までSouth Bay支店勤務。同年より現職。

日本に帰るか、アメリカに残るか アメリカを選んだ最大の理由は…

ロサンゼルスにきたのは95年。オフィス機器等のリース会社の派遣駐在員として渡米しました。4年ほど海外勤務をした後、日本に戻るつもりでいたのですが、99年に米国子会社をアメリカの会社に売却。日本に帰るか、子会社と共にアメリカに残るかという選択をすることに。

ここに残った最大の理由は、仕事が面白かったのもありましたが、この国の教育もその一つでした。当時、4歳の息子がティーボールという野球に似たゲームを始めて、その練習を見ながらリトルリーグの野球のコーチのお手伝いをしていたのです。子どもは球が飛んで来ると、うんと離れたところでバットを振ることもありますよね。それに対して日本のコーチは「脇が開いている」



趣味はサッカーに野球にゴルフ、キャンプと多様。今年にはジョギングを開始

とか次に当てられるように指導をします。でも、アメリカのコーチは「ナイス・スイング!」と拍手をする。ほめられて気を良くした子は、また離れたところを全力で振る。目先の数年で考えれば、日本の子の方が野球

が上手になるでしょう。でも長いスパンで見るときに、思い切り振れるってすごいことですよね。そういう考え方を教育の基礎にしているこの国に残りたいと思ったのです。

息子は7歳になった時に今度はサッカーを始めました。彼のサッカーを見ながら私も転がっているボールを蹴っていたら、コーチに声をかけていただき、37歳で遅咲きのサッカーデビュー。はまりました(笑)。チームを作って毎週末サッカー三昧。最初は汗をかいておいしいお酒が飲みたいという動機でしたが、チーム結成から5、6年後には日系リーグで優勝するまでに。08年に腰を悪くしてやめるまで、サッカーばかりやっていましたね。アメリカは気軽にいろいろなことを始められる機会もたくさんありますし、始めてみるとどんどん面白くなる。その意味でも、残って良かったなと思いますね。

地域のインフラとしての 銀行業の醍醐味とミッション

2002年には、United California Bank (現Bank of the West)へ転職。格好良く言うとチャレンジですが、新しいことが好きなんですよ。アメリカはスポーツでもそうですが、ポジティブな姿勢でいると、さまざまなチャンスがあります。

リース業も大きく分ければ金融に入りますが、銀行業界は初めて。ひと口に銀行と

言ってもさまざまな専門があり、私はリース業界にいた頃から専門にしていた法人向け貸し付けを業務の柱に、06年よりリトル東京支店の支店長職を務めています。

今はオンラインバンキングも発達し、いろいろなことが機械でできるようになっていますが、やはりどこまでいっても、商売は人と人がするもの。私の仕事の醍醐味は、人に会えることです。例えば、企業の経営者の方に銀行の看板を背負ってお目にかかったとします。初めて会ったにもかかわらず、銀行を代表して、何十年ものご苦労を含めて、お仕事のお話をうかがうことができるのです。そうしたお客様のニーズに対して、アメリカという金融の世界で最先端の国の商品を、世界最高の質の日本のサービスでお届けすることが、私のミッションです。

私は、銀行はコミュニティーのインフラみたいなものだと考えています。他行に比べての勝ち負けを競うのではなく、銀行業界全体、コミュニティー全体で伸びていきたい。その結果としてコミュニティーが元気になって、もっと大きくなっていければ最高だと思っています。

COMPANY INFO

Bank of the West◎フランスに本拠を置く金融グループ、BNPパリバ傘下の銀行。1874年設立。米国西部、中西部に700カ所以上の支店を展開し、資金・財務管理、ビジネスローン、外国為替などの個人、法人向け金融サービスを提供。

ビュー ライフ

躍するJBA会員
業人としてのお伝えます。

Kajima Development Corporation
President and CEO

いとう たかし
伊藤 貴志 さん

アメリカ滞在30年 リトル東京と共に51年

1952年千葉県生まれ。一橋大学経済学部では合唱団の指揮者としてクラブ活動に没頭。卒業後、鹿島建設入社。開発事業部門を経て、85年にミネソタ州ミネアポリスに赴任。98年よりロサンゼルス兼務となりロサンゼルスに転居。00年より現職。



鹿島の米国初プロジェクトは リトル東京の再開発

鹿島の米国進出は1964年で、昨年50周年を迎えました。米国初のプロジェクトは、今、当社があるリトル東京の鹿島ビルの建設。当時、第二次世界大戦後に収容所から戻って来た日系人が土地を買い戻してリトル東京を再開発していたのですがあまり進んでおらず、ロサンゼルス市から「開発が進まないなら土地を収用する」と警告がありました。このままではリトル東京がなくなってしまうと、住友銀行さんのご協力を得て鹿島がこのビルを建設したのです。

市からのさらなる要請に応え、続いて日系企業30社でEast West Development Corporation（以下EWDC）を作り、ニューオータニとウェラーコートを開発したのですが、「日系人が必死で買い戻した土地を、日本企業が金儲けのために開発している」と一部の方からは反発を受けました。しかし実のところは、恥ずかしながら大赤字でした。私は04年にEWDCの社長に就任し、07年にEWDCプロジェクトを非日系の投資家に



85年から奥様、2人の息子さんと共に米国暮らし。ご長男にはお子さんも誕生

売却して会社を精算。すると今度は、「鹿島は日本人の魂を売った」と厳しい批判を受けました。もちろん「リトル東京は先人が苦勞して作られた街で守っていかなければならない」とは思うのですが、荒廃してしまっただけで元も子もない。日本人だけが集まってやるのが良い時代でもないし、それよりも活気付いて夜も安全な街となった今の方が良いのではないかと考えています。

アメリカ滞在 30年を迎えて

ロサンゼルスに転居した当初の98、99年はミネアポリスの大規模再開発事業、Riverplace Projectの現地責任者と、LAの兼務で両方の土地を行ったり来たり。当時のLAは大気汚染がひどくて参りましたが、一方で年中気候が良いなあと。ミネアポリスは「アメリカの冷凍庫」とニックネームがあるほど寒く、冬が終わると一気に夏が来るので2週間くらいであらゆる花が咲きます。それは見事です。LAに来てビックリしたのはジャカランダの花。あんな紫の花は日本でもミネアポリスでも見たことがありません。これがLAだなあと思いました。

ミネアポリスに85年に赴任した時は実は3年の駐在予定でした。ところが同地の再開発事業の立て直しに想像以上に時間がかかり、結局13年。そこでアメリカ流の

ビジネスの仕方を学んでしまったので、日本流の会議なんてもうできません（笑）。

赴任当初は5歳と1歳だった息子も、今や35歳と30歳。通常の学校に加えて、飛び級の数学のクラスや日本語補習授業校にも通っていましたが苦勞したかと思いますが「大変だね」なんて言うのと安きに流れてしまうと一度も言ったことはありません。幸い妻も帰りたいと言ったことはありませんから、有難いことですね。米国では会社で友人を作ることもありませんし、簡単に相手を信じるわけにもいきません。だからこそ家族が非常に大切です。それは日米のどちらが良いというのではなく、理解していないとお互いが不幸になる違いでしょうね。

一方で、米国は日本のように細かく相手の気持ちを察する必要もなく、イエスはイエス、ノーはノーと極めて単純で楽です。自分の足で稼ぐタイプの人間でないと生き残れない土地ではありますが、30年も暮らしている理由の一つは、それが性に合っているからでしょう。米国暮らしが長く、つい思ったままを言って怒らせてしまうこともあるのですけれど（笑）。

COMPANY INFO

Kajima Development Corporation © 米国鹿島グループに属し、住宅および商業施設の開発を手がける。1979年に設立され、カリフォルニア、ワシントン及びアリゾナ州で開発を行う他、ロサンゼルス都市圏で商業施設を運営。

「サプライチェーン改革 ～流通コストの削減と関税、移転価格プランニング～」



物の輸出入でビジネス展開をする日系企業が多い中、当日は会場が満員となる盛況ぶりだった

去る1月23日、オレンジ・カウンティのアーバインで、第179回JBAビジネスセミナー「サプライチェーン改革～流通コストの削減と関税、移転価格プランニング～」を開催した。当日はPwC（PricewaterhouseCoopers）の日系企業部門のエキスパート4人が講演。グローバル企業のサプライチェーンの最新動向を踏まえ、在米日系企業のサプライチェーン改革や関税、移転価格プランニングについて、具体例を交えながら解説した。

在米日系企業の サプライチェーン改革

まずはPwCアドバイザー部門パートナーの岡本潔さんが壇上に立ち、日系企業の事業モデルを解説。①国内市場向けに事業を行う「国内モデル」、②国内で開発・製造した製品を輸出する「輸出モデル」、③本社で製品を開発・製造し、そのプラットフォームを海外に移して現地で作る「地域化モデル」、④核となる製品の開発・製造・販売全てを現地で行う「オリジネートモデル」があり、最近では③④が増えているとした。またグローバル展開する上では、②から④のいずれもサプライチェーンの機能充実が重要と説明。その裏付けとしてPwCがグローバル企業500社を対象に行った調査を紹介し、パフォーマンスに優れた世界的企業ほどグローバルと地域の両方におけるサプライチェーンのバランスを維持していると説明した。

従来の事業環境で見逃しがちだった物流コストの改善で10～20%のコスト削減が可能と言う岡本さん。物流コストを考える上では、①納期達成率、②物流コスト、③在庫回転率の3つの物流パフォーマンスを包

括的に把握する必要性を説き、「①から③はどれもトレードオフの関係にありますが、企業にとって最適のトレードオフポイントを設定し、それを意図的に実現することが重要です」と解説した。

通常は、アジアの製造拠点で作った製品を北米各地の倉庫に輸送し、その地域の顧客に配送する。この一般的な物流フローでは、①国際輸送、②関税、③倉庫オペレーション、④国内輸送の4つの大きな領域があるが、このうち圧倒的にコストがかかるのが①と④。合わせると総物流コストの60～70%を占めるそうだ。岡本さんは、①から④においてそれぞれ「航空輸送から海上輸送への変更」「通関を集約することによる税関使用料の削減」「レーバーレートの削減およびプロセスの効率化」「輸送レートの削減」などのコスト削減方を紹介した。

物流オペレーションでは、①現状の輸送レートや倉庫のコストを競合他社や相場と比べる「ベンチマーク」、②自社と他社の現状プラクティスの比較、③物流関係従事者への面接や物流施設への訪問による現状の明確化、④輸送パフォーマンスのデータ分析の4つの重要な活動があるが、これらを体系的に診断することでコスト削減機会を

洗い出すことができるという。

最後に岡本さんは企業の改善活動例を紹介。成功の共通点として「物流フローに沿った物流領域の検討」と「国際輸送、関税、倉庫管理、国内輸送の徹底分析」を挙げ、これにより物流コストが年間10～20%も削減できるとした。

関税コストの低減と その諸方策について

次のセッションでは、PwC 関税貿易部門ディレクターのクレイグ・ピンカートンさんが講演。PwC 税務部門パートナーでカリフォルニア州公認会計士の横山美穂さんが補足と解説を担当した。

輸出入には関税以外にも物品税、通関手数料、港湾維持料、アンチダンピング・相殺関税など多様なコストがかかるが、海外から原材料を輸入し製品化して輸出する在米日系企業にとって、こうしたコストの削減はキーポイントとなる。

輸入の際に通関業者を使う日本企業は多いが、関税当局による調査が行われた場合、通関業者ではなく輸入当事者である企業が責任を持つ。輸入額が多いと5～7年のスパンで関税当局による調査が入る。調査の



FDA・各種規制対応

- FDAコンサルティング(食品、化粧品、薬品、医療機器、福祉機器、放射線、動物)
- EPA, UL, CE, VOC, AAFCO他各種登録

米国進出事業企画

市場調査、販売ネットワーク構築、日米間M&A、合弁事業、米国撤退業務引継ぎ、事務所貸出

globizz
Los Angeles・東京・大阪

Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net

お問い合わせは飯田哲平迄。

1411 W. 190th St., Toyota Plaza #200, Gardena, CA 90248, U.S.A.
(株) グロービッツ www.globizz.net



【講師】 岡本 潔さん

PwC アドバイザリー部門パートナー。オペレーション戦略、サプライチェーンマネジメント、製品イノベーション、開発の分野における20年間以上の実務経験、およびコンサルティング経験を持つ。



【講師】 Craig J. Pinkerton さん

PwC 関税貿易部門ディレクター。米国企業および在米外資系企業に対し、関税費用の低減機会の特定、関税リスクの低減、関税にかかる事務効率向上など、関税全般のアドバイスを提供する。



【講師】 横山美穂さん

カリフォルニア州公認会計士。PwC 税務部門パートナー。米国展開する日系企業への米国および国際税務アドバイス、コンプライアンス、税務効果会計サービスなど税務全般に従事。



【講師】 黒澤 敦さん

PwC 税務部門 移転価格 グループマネージャー。輸送機器、医療機器、食料品産業などの米国企業および在米日系企業に対し、相互協議、事前確認、移転価格文書化サポートなど移転価格関連のアドバイスを提供。

際には関係資料の提出を求められるため、常に適切な注意を払い、記録を管理・保管しておく必要がある。

次に関税コスト低減のための4つの諸方策として、「ファーストセール」「外国貿易地域の活用」「関税払戻制度の活用」、そして「関税分類」の見直しについて紹介。

ファーストセールとは、米国に輸入する前に、製造子会社と中間販売会社の取引等、複数の取引が存在した場合に、米国輸入に先行する最初の取引価格を関税課税価格として使用することが認められる制度である。例えば日本企業が中国の子会社で製品を製造し、物流上は中国子会社から直接米国子会社に輸出し、商流上は中国子会社から日本本社を経由して米国子会社に販売したとする。この場合、ファーストセールの適用することによって、アメリカでの輸入の際の関税課税価格に中国子会社から日本本社への販売価格を用いることができる。このファーストセールの適用条件は、正当な販売取引が存在し、取引価格を通関価格として使用することが他の法令などにより除外されていないこと、製造者と中間販売会社との取引の時点で製品が米国向けであることが明確であること、製造者と中間販売会社の取引が独立企業間価格であることである。

その後、外国貿易地域 (Free Trade Zone) の活用による関税率の軽減、事務的負担の軽減、通関手数料の削減等の利点について、そして関税納付済みの輸入貨物を他国に再輸出 (あるいは破棄) する場合、納付した関税の99%にあたる金額を上限とした払い戻しを受けることができる関税払戻制度について紹介。最後に既存の関税上の商品の分類コード (商品の名称および分類についての統一システムに関する国際条約に基づく分類番号) に分類できない製品を低い関税率のコードに再分類する等、課税分類の見直しによる関税の低減策を紹介した。ここでは例えば自動車の一部

となる部品でも、自動車自体の一部とするのか、それとも自動車のシートの一部として分類するのかによって、関税率も10%と3%と大きく異なるため、分類による節税効果が大きいとした。

サプライチェーンに関わる 移転価格のプランニング

最後にPwC 税務部門移転価格グループマネージャーの黒澤敦さんが講演。まず黒澤さんは、在米日系企業が関わるサプライチェーンに変化が起きており、これに伴い在米日系企業の機能が複雑化していること、また全世界での税制環境が大きく変わり、各国の税務当局がグローバルのサプライチェーンとそこでの全世界所得、ならびにサプライチェーンの中の各社の経済的実体に注目していることについて紹介した。さらに移転価格では一連のサプライチェーンにおいて担う機能、負担するリスク、使用する資産に応じた課税所得を計上し、これらが大きいほど期待収益は高くなり、振れ幅も大きくなるという移転価格の基本概念を説明した。その後、近年のサプライチェーンモデルで多く採用されている地域化モデル (例えば、北米地域に地域統括会社等の複雑な機能を持つハブを持ち、同地域内の研究開発、製造、販売会社を統括するモデル) とオリジネートモデル (地域化モデルと異なり、同一地域内に複数のハブが存在するモデル) における移転価格ポリシーの整理の方法について説明した。

黒澤さんは、移転価格ポリシーの整理の際には、在米日系企業が関わるビジネスモデルがどんなもので、そこでの在米日系企業の機能は何かを把握することが重要とし、一つの会社でも事業種別、製品別、顧客市場別にビジネスモデルが異なる場合があるため、こうした場合はビジネスモデルごとに各社の機能を把握する必要があるとした。また、日系企業のグローバル化に伴い在米

日系企業の機能が複雑化しており、在米日系企業が独自の研究開発を行う、または無形資産を有する企業を買収することで無形資産を自ら保有したり、ビジネスの新しいプラットフォームを独自に開発して世界展開したりしており、こうした場合のビジネスモデルの把握と各社の機能の把握の際にはさらなる注意が必要とした。

そして、ビジネスモデルおよびそこでの各社の機能の把握後は、ビジネスモデルごとに移転価格ポリシーを策定する必要があり、その際は関連会社間契約の締結によって法的に裁量・リスク負担・権利・義務の分担を明確化し、各ビジネスモデルに各在米日系企業の機能に応じた期待利益率を算定すべきとした。

最後に黒澤さんは、直近の税制環境下で移転価格ポリシーを策定する際の注意事項を紹介した。まずは、各ビジネスモデルにおける在米日系企業の経済的実体と移転価格ポリシーにおける機能との間に乖離がないかを確認し、在米日系企業各社の機能と課税所得との間に一貫性があるかを把握する。また、策定した移転価格ポリシーと毎年の税務申告期限までに各社の課税所得レベルを説明する移転価格文書の内容との間の一貫性にも注意する必要があるとした。

参加者の声 >>>



JETRO, Los Angelesの桑田さん「仕事柄問い合わせを多くいただきますので、個人の勉強として参加しました。物流コストなど不明瞭な点が明確になって良かったです」

PASONAの野入さん「弊社は企業のコンサルタントも行っていきますので、グローバルサプライチェーンや輸出入コストの削減などが非常に勉強になりました」



「2015年外務省主催在米日系人リーダー訪日プログラム」 参加者を囲んでの夕食会開催

去る1月31日、「2015年外務省主催在米日系人リーダー訪日プログラム」の壮行会ディナーをJBA主催で開催した。当日は、今年3月に訪日する全米選出の日系人リーダー10名をはじめ、在ロサンゼルス日本国総領事館関係者などが出席。高い次元での日米関係構築に貢献する日系人リーダーとのネットワーキングの場ということもあり、会は終始和やかに進行した。

全米選出の日系人リーダー その訪日プログラムとは？

このプログラムは、「日米友好と相互理解の促進」「在米日系人の役割拡大」「日系人リーダーのネットワーク構築」などを目的に2000年に開始された。アメリカ社会のメインストリームで活躍する日系アメリカ人を「日系人リーダー」として全米規模で公募。厳正な審査を経て選ばれた、10名程度の日系人リーダーらは1週間の旅程で日本を訪問。政府高官や政治家、財界人らと、政治、経済、教育、環境など多岐にわたって意見交換する。また、日米関連のシンポジウムなどにも参加し意見や情報共有するなど、連日内容の濃いプログラムを遂行する。これまで選出された日系人リーダーは、裁判官や州議会議員、会社経営者、市長経験者、警察官、団体役員など指導的立場にある日系人が多数を占め、みな訪日への意気込みと意識は高い。今年も米日カウンシルのアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長が団長として代表団を引率し、3月6日から14日の日程で東京と広島を訪問する。

訪日前の1月下旬にリーダーたちはロサンゼルスに集まり、2日間にわたる訪日準備のオリエンテーションを受けた。その後開催された壮行会ディナーは、有能な日系人リーダーと親睦を交わすと共に南カリフォルニアの日系企業活動やその貢献について認知してもらいたいとJBAが毎年主催。今年で5回目となっている。

日系アメリカ人の代表として 日米の懸け橋となるべく日本へ



最初の挨拶に立った三宅JBA会長

午後6時30分、司会を務める海部優子JBA筆頭副会長が開始を宣言。例年のごとく、流ちょうな英語と巧みなジョークを交えながら楽しく会を進行した。最初は三宅

英夫JBA会長が挨拶に立ち、こう語った。

「50年以上前に設立されたJBAの歴史は、南カリフォルニアで活動する日系企業の歴史そのものであり、日米経済関係の変遷と軌を一にするものでもあります。また、これまで日系企業がアメリカでビジネスを続けてこられたのも、日系アメリカ人社会のご支援のおかげ。本当に感謝しています。皆さんが日本から戻ってこられた時には、いろいろな土産話をお聞きできることを楽しみにしています。」

続いて堀之内秀久在ロサンゼルス日本国総領事が挨拶に立った。総領事は、ひつじ年にちなんで「羊」の字から“Nutrition”を意味する「養」の字を紹介。「皆さん、日本でたくさんおいしいものを食べて栄養を摂ってください。同時に、現代日本の真の姿を体験することで日本への理解を深め、この旅が将来のキャリアの糧となるよう、精神や心、脳にも栄養補給してきてください」と激励した。

次に、訪日グループを率いるアイリーン・ヒラノ・イノウエ米日カウンシル会長が挨拶に立ちこう語った。

「このプログラムが始まった2000年当時、日系3世、4世は自分たちの祖先と疎遠になりつつありました。しかしこのプログラムを通じて、個人的、キャリア的にも日系人同士のつながりが強くなりました。これまで訪日したリーダーは176人。彼らは今でも同窓生として全米規模で強固なつながりを維持しています。1週間の訪日では、安倍首相をはじめ外務大臣や経済界の要人と意見交換する貴重な機会に恵まれています。この秋は米日カウンシルのカンファレンスが東京で開催されるため、今年は皆さんも含めて多くのアメリカ人、日系アメリカ人が日本を訪れる貴重な年となります。」



今年も団長として引率するイノウエ米日カウンシル会長

イノウエ会長から日系人リーダーらにマイクが渡り自己紹介が始まった。出身地や職業、家族の歴史などを紹介し、中には「猛烈な速さで高齢化時代に入突する日本の現状を勉強したい」「TPP交渉に関して個別の案件がどうなっているのか学びたい」と訪日の抱負を語るリーダーもいた。

自己紹介が終わるといよいよ乾杯。音頭を取ったのは、JBA常任理事の芹沢さん。芹沢さんは「乾杯の音頭を取らせていただき光栄ですが、その心づもりはしていませんでしたよ」と苦笑いしつつ、「日本ではたくさんの人に出会って、有意義な時間を過ごしてください。訪日プログラムの成功を祈って乾杯!」と威勢よく音頭を取った。その後はパフェ形式の料理を食べながら、途中リーダー以外の参加者らの自己紹介があるなど、笑いが絶えない有意義な会となった。



JBAボードメンバーの芹沢さんの音頭で乾杯!

2014年日系人リーダー紹介(敬称略)

- リン・ハシモト Lynn Hashimoto**
(Senior Attorney, Microsoft Corporation/ Seattle, WA)
- ヨシエ・イトウ Yoshie Ito**
(Assistant Director, Global Initiatives, Asia Society/ New York, NY)
- トシキ・マサキ Toshiaki Masaki**
(Manager, Government Affairs, Ford Motor Company/ Detroit, MI)
- リチャード・モリモト Richard I. Morimoto**
(Bill and Gayle Cook Professor of Biology, Northwestern University/ Chicago, IL)
- プリシラ・オウチダ Priscilla Ouchida**
(Executive Director, Japanese American Citizens League/ San Francisco, CA)
- リンダ・タイラ Linda Taira**
(Senior Manager, Internal & CEO Communications, Boeing Defense, Space & Security/ Los Angeles, CA)
- サチ・タカヤス Sach Takayasu**
(President & CEO, Asian/Pacific Islander American Chamber of Commerce & Entrepreneurship/ Washington, DC)
- タイラー・トキオカ Tyler Tokioka**
(Vice President, External Affairs & Agency Relations, Island Insurance Companies/ Honolulu, HI)
- トレーシー・ツエタキ Tracy Tsuetaki**
(Senior Vice President, PAREXEL International/ Chapel Hill, NC)
- ロビン・ヤスイ Robin Yasui**
(Director of Geriatrics, Denver Health/ Denver, CO)

企画マーケティング部会

OCのお洒落なレストラン&バーで 54人が交流を深めたミキサー

去る2月20日、アーバインのAndrei's Conscious Cuisine & Cocktailsにて異業種交流会（ミキサー）を開催した。2013年、People's Choiceでの受賞歴もある同レストランの素晴らしい料理も手伝って大いに盛り上がった同会。参加者の皆さんに、参加理由や感想をうかがった。（皆さんのお名前は左から）



Sanshin Electronics Corporationの山本さんとKDDI America, Inc.の榎原さん。「食欲にいろんな方と知り合って新しいビジネスにつなげていけたらと思って来ました」（山本さん）、「アーバインのコミュニティーやビジネスと出会えたらと思ってトランスから来ました」（榎原さん）



Total Computing Solutions of America, Inc.の竹村さん、Fuji Business Internationalの藤ノ木さん、SYSCOM (USA) INC.の山下さん、Primericaの永山さん。「会を盛り上げに来ました」（竹村さん）、「ネットワーク作りに」（藤ノ木さん）、「OCでの人脈作りに」（山下さん）、「旧知のIT関係者に会えてよかったです」（永山さん）



MassMutual Financial Groupのフラッグさん、Pacific Guardian Life Insurance Co. Ltd.の今井さん。「素敵なレストランで皆さんと交流を楽しんでいます」（フラッグさん）、「お料理が素晴らしいですね。皆さん家族のように親切にしてください、里帰りしたような気持ちです」（今井さん）



TriCom Questの千葉さんと三浦さん。「1月に賀詞交歓会で非常に多くの方と会う機会があったのですが、もう少し一人ひとりの方と深く話せたらと思い参加しました」（千葉さん）、「OCでも交流を深めたくて少し会社から遠かったのでが頑張ってきました！」（三浦さん）



TONNEX (NAKANO WAREHOUSE AND TRANSPORTATION CO.,LTD.)の村井さんと犬飼さん、KDDI America, Inc.の洪田さん。「多くの人と交流して帰りたいです」（村井さん）、「まだ渡米2カ月ですが、多くの初めての方々と会えました」（犬飼さん）、「料理もおいしく、エンジョイしています」（洪田さん）



Toshiba America Medical Systems, Inc.の岡村さんと岩屋さん、Mazda Motor Corporationのリーさん。「会社以外の方々と知り合うのが目的です！」（岡村さん）、「アーバインの日系企業の方と知り合う機会がなく、楽しみにして来ました」（岩屋さん）、「多くの方と交流したいです」（リーさん）



Isuzu North America Corporationの藤本さん、Yokohama Corporation of North Americaの井筒さん、Rocky Paradigmの井筒さん。「素敵な雰囲気の中、多くの業種の方とお話ができました」（藤本さん）、「近所なので、のぞきにきました（笑）」（井筒さん ※中央）、「久しぶりにミキサーの応援に来ました」（井筒さん）



ABeam Consulting(USA) Ltd.の三浦さん、Seeknet USAの河原崎さん。「アーバインにオフィスを開設したこともあり、近辺の企業の方々とお会いできて有意義でした」（三浦さん）、「多くの業種の方がいらっやっているので、いろいろな人脈が築けそうです」（河原崎さん）



Key International, Inc.の田島さん、Pacific Guardian Life Insurance Co. Ltd.の安藤さん。「初めての方と名刺交換したので、積極的にアピールしていきたいと思います！」（田島さん）、「よく存じ上げている方、新しい方、どちらとも会えるとてもいい場だと思います」（安藤さん）

三井倉庫は食品の温度管理輸送を開始しました

お問い合わせ：800.mitsoko (6487656)
sales@mitsui-soko.com

地域部会合同

Northern Trust Open報告

文: TOP Los Angeles・石田あす香さん



2月22日、ゴルフ好きもそうでない人も十分に楽しめる、Northern Trust Openへ参加いたしました。私は普段、ゴルフをプレーしませんが、世界の場で活躍するプロゴルファーを真近で見られるというミーハーな感覚で今回2回目の参加。

場所は少し走ればサンタモニカがすぐ、豊富な緑と木々に囲まれた美しいカントリークラブ、The Riviera Country Club。昨年のうだるような暑さとは打って変わって、気温16度、時折激しい雨に覆われた肌寒い中でのプレー観戦でした。まずは1st Holeのティーグラウンドにて、ファーストショットを拝見。昨年の優勝者、Bubba Watson選手（Bubbaさんお気に入り、ピンクのドライバーで登場）、当日52歳の誕生日を迎えたベテランVijay Singh選手、また21歳の新

鋭Jordan Spieth選手など、そうそうたるメンバーの迫力あるショットを真近で見学し興奮の熱を温めた後、The Riviera Country Clubの寺嶋さんより、クラブの歴史やツアー開催の裏話など、オブショナルツアー参加の皆さんと輪になって伺っていると、そこになんとティーショットを終了したSergio Garcia選手が輪の真ん中を通過。日本人が輪になっていったい何ごとだろうと、とまどい顔のSergioさんと、世界のSergioさんに目がハートになっている我々グループ。こんなハプニングも選手を遠くから観戦するのではなく、選手と一緒に戦いの場を移動できるゴルフならではのおいしい体験でした。

もちろん我がJAPANの星、松山英樹選手も追っかけて来ました。松山選

手は世界ランク46位のPat Perez選手、79位のMichael Putnam選手と同組。Perez選手は時折難しいショットを強いられる場面があり、Putnam選手に関しては、キャディーと折り合いが合わず、虫の居所が悪くご機嫌斜め。痲癩を起こし、クラブを芝生に叩きつける等、プロゴルファーの「生ギレ」まで見る事ができました。そんな二人にはお構いなしに、終始平常心を保ち自分のゴルフをした松山選手はファイナルスコア4位と大健闘。絶好調な今、ぜひ次回の活躍を期待したいと思います。

ゴルフ好きもそうでない人も十分に楽しめる、Northern Trust Open。JBAのお陰で普段は手の届かない贅沢を手ごろに楽しむことができました。来年が今からワクワクです。

21241 S. Western Ave., Suite 200
Torrance, CA 90501
Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630
✉ sboffice@knllp.com

<http://www.knllp.com>

An Independent Member of the
plante moran
ALLIANCE

Kakimoto
Nagashima
LLP
Certified Public Accountants
Consultants

日本人スタッフによる信頼できるサービス

会計監査・会計全般
税務全般(企業、個人)
会計アウトソーシング
コンピューターコンサルティンク
経営コンサルティンク

自動車リースは
アメリカでクレジットが無いと
出来ないと考えていませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でもOK!
- 全米どこでもOK! どんな田舎でも、都会でもOK!
- どんな車種でもOK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、
- などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でもOK!
- リース期間は1年からOK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 納車は注文からわずか1週間ほどで可能です。
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。

*現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様に全米でご利用いただいております。

いえ、
出来るんです
どなたでも、全米どこの町でもOK!

お気軽に電話または
e-mailでお問い合わせください。

電話: 213-621-7775

担当は、大橋: ohashi3@pacbell.net
又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

朗報 カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リース
もありますので、在庫車種をお問い合わせください。

*各種情報はウェブサイトでも、ご覧になれます。

www.LaJapaneseAuto.net

親切で安心して任せられる33年の実績信頼 小東京で1980年創業

LOS ANGELES JAPANESE AUTO
810 E. 1st St., Los Angeles, CA 90012 Tel:(213) 621-7775 Fax:(213) 687-0909

地域部会合同

ゴミ拾いハイキング報告

文: Isuzu North America Corporation・藤本祐太郎さん

2月8日、JBAとして本年度3回目となるハイキング・ゴミ拾いボランティアに参加いたしました。今回のコースはMalibu Beach近くのSandstone Peak。

行程は標高951mまでの山道約6milesを5時間で歩くもので、ゴミを拾いながら進むことから、なかなかの運動になります。ゴミについては、コース上

は比較的きれいに保たれていましたが、後ろめたさによるものか、いくつかは回収できないほど奥まった場所に捨てられており、少数の方の所為とはいえ残念な思いを感じました。

奮闘の果てに辿り着いた山頂では、朝の霧が嘘のように晴れ渡り、Malibuの絶景が広がっていました。Santa Monica



Mountainsの最高地点から南カリフォルニアを眺めるのは、まさにこのハイキングの醍醐味といえるでしょう。

日本人として復興支援への恩返しを行うと共に、南カリフォルニアの自然に直に触れることで、地域の素晴らしさを改めて認識できる有意義な機会です。ご興味のある方は参加してみたいかでしょうか。

あさひ学園だより

新校長からの挨拶



この4月より、あさひ学園の校長の職務を仰せつかりました、大内富夫と申します。

出身は茨城県高萩市、趣味はジョギングと読書です。最近では座禅

に興味を持ち、京都の小さなお寺で1カ月間の禅修行も体験し、自分を見つめなおす、貴重な時間を過ごしてきました。

さて、私は以前に、ジャカルタ（インドネシア）とジョホール（マレーシア）の日本人学校に勤務したことがあります。その時、海外在住の子どもたちの体験が如何に大変であるかということ、

また、日本とは異なる環境の中で、子どもたちの安全を最優先した学校運営（教育実践）の難しさを肌で感じてきました。

これらの経験を活かし、本校に通う子どもたち一人一人が、安全で楽しく充実した学校生活を送れるよう、全力で取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

1~2年落ちの新型モデルの中古車も幅広いネットワークから取り寄せ販売します!



アメリカ赴任で車を購入されるなら ガリバーの中古車がお勧めです!

- ☑ 購入時、移動手段がなくても自宅まで送迎!
- ☑ 米系大手に負けない価格競争力と100項目以上の充実した納車整備点検!
- ☑ 日本人の主要居住エリアに提携先整備工場があり、購入後も日本語で安心

売りたい方にも便利!
無料出張査定エリア

- ・Los Angeles
- ・Torrance
- ・Irvine
- ・San Diego

新型モデルを
少しでも安く!

詳しくはお気軽にご相談下さい。

1-866-398-8350
(査定のご予約もお早めに!)

詳しくはウェブで!

ガリバーUSA 検索

Gulliver
Car Connection Center

3~5年安心して乗れ、
帰国の際に高く売れる
車をたくさんご用意
しています。



佐藤



ロビー

客室(一例)

パティオ

セミナールーム

**REDAC
GATEWAY
HOTEL**

(旧) Torrance Plaza Hotelが
生まれ変わりました。

フロントデスク **310-212-5222**

詳しくは コーポレート担当: 原田・池上
までお問い合わせ下さい

310-328-2800

rglcorporate@redacinc.com

20801 S. Western Ave., Torrance, CA 90501

www.redachotel.com

info@redachotel.com

ロサンゼルスへのご赴任・ご出張の方の滞在先として

リダック
ゲートウェイ
ホテルを
ご利用下さい。

リログループ **REDAC**
リダック

オレンジカウンティ地域部会

「豪華オードブル&クッキーデコレーション料理教室」への参加

文: Ricoh Electronics, Inc.・土江厚志さん夫人、土江直さん

2月7日に、カリフォルニア大学アーバイン校で開催された「豪華オードブル&クッキーデコレーション料理教室」に参加させていただきました。

「豪華オードブル」というタイトルの通り、とても自宅で一人では作ることができないような豪華な4品とデコレーションクッキー等のメニューが並び、準備していただいたものを、最後の仕上げを行うような形で進みました。

私たちのグループは5人で、作業の合間に育児の話から普段の生活の話な

どさまざまなお話ができたことがとてもよかったです。最後には両手いっぱいになるほどのオードブルをお土産に持って帰ることができ、自宅でも家族と分け合いながら楽しんで食べることができました。また次回開催の際には参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。



Save the Date!

7/18
(土)

第22回JBA Foundation
Charity Golf Tournament
Tustin Ranch Golf Club

新入会員

Cosmo Staffing, Inc.
23505 Crenshaw Blvd. Suite 242, Torrance, CA 90505 ☎ 310-784-8498

お詫びと訂正：JBA NEWS2015年3月号、p.2において、賀詞交歓会の担当部会名に誤りがありました。「商工部会」と記されていますが、正しくは「企画マーケティング部会」です。読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、ここに訂正させていただきます。

三菱の新車を特別リース・価格で!!



2014 IHS TOP SAFETY PICK
Outlander Sport
3 Years in a Row

2015 Outlander Sport

2014 IHS TOP SAFETY PICK+
2014 Outlander

2015 Outlander

* 若干の条件制限がある場合もございます

- ・ Mitsubishi Motors North Americaでは、日本人のお客様専用の窓口を設けて三菱車ご購入のサポートをさせていただきます。ストレスを感じることなく、スムーズにご商談を取り進めることが出来ます。
- ・ 特別優遇金利ローン、特別優遇リースプログラムもご利用可能です(*)。
- ・ お問い合わせは以下の日本人担当まで。
 - Fuminori Kojima (児島), Mitsubishi Motors North America
714-799-4790 ・ fkojima@mmsa.com
 - Hatsuki Nagai (長井), Anaheim Mitsubishi
949-427-1214 ・ rinasmom@gmail.com

mitsubishicars.com



MITSUBISHI
MOTORS

パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・ 渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・ 便利な日本語コールセンター (フリーダイヤル・日本時間にも対応)
- ・ ご帰国後の口座管理にも便利

まずはユニオンバンク日本語フリーダイヤル **1-888-507-7669** までお問い合わせください。

※このプログラムのご利用は会社登録をされた企業の駐在員に限られます。

 **UnionBank®**

A member of MUFG, a global financial group

©2015 Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc. All rights reserved. Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N. A., Member FDIC. Visit us at unionbank.com/japanese.